



医療法人社団善仁会 小山記念病院  
理事長 小山 典宏 氏



小山記念病院の全景

## 医療法人社団善仁会 小山記念病院

理事長 小山 典宏 氏

聞き手／筑波総研 株式会社 取締役社長 小倉 利男  
文責／筑波総研 株式会社 主席研究員 熊坂 敏彦

### ■法人概要

本社：茨城県鹿嶋市厨5-1-2

設立：昭和44年11月

職員数：526名

(内常勤医師41名、看護師203名、診療技術職員106名)

主な施設・事業所：小山記念病院、小山記念病院健康管理センター、小山記念病院ケアセンター、介護老人保健施設「鹿野苑」、軽費老人ホーム「ケアハウス鹿島の杜」、特別養護老人ホーム「あやめ荘」、特別養護老人ホーム「セ・シボンかしま」、潮来市老人デイサービスセンター「白鳥」、障害者就労支援施設「ONE HEART」、たるいこどもクリニック、しまぶくろデンタルクリニック、(株)寿・まごころ工房

医療法人社団善仁会グループは、茨城県鹿嶋市を中心に鹿行地域の中核医療機関として小山記念病院をはじめ、医療・福祉・給食事業を行う企業です。同グループの理事長の小山典宏氏（医学博士）に、地域医療機関としての使命感やグループ運営の基本的な考え方、特色、今後の方向性などについてお伺いいたしました。（インタビュー：平成26年3月18日）

小山記念病院は、鹿嶋市を一望できる高台に平成14年1月に新築移転され、鹿行地域の中核医療機関として名実ともに確固たる存在感を示しております。貴医療法人社団善仁会は、本年創立45周年を迎えられますが、昭和44年の開業から現在に至る経緯、医療事業の発展のプロセスを初めにお教えてください。

昭和44年に、私の父・小山善朗が、鹿嶋市宮中に個人病院・小山病院（48床）を開院したのが始まりです。昭和47年に医療法人社団善仁会小山病院に組織変更を行い、その後、診療科目、病棟、ベッド数等を増設して地域の医療ニーズに応じて参りました。平成14年1月に現在地に小山記念病院を新築移転し、平成19年1月に小山記念病院と小山記念宮中病院を統合して、ベッド総数

216床となりました。その後、産科特例病床8床を増設して、現在は224床となっております。診療科目は、24あります。私は、平成9年に小山病院に入職し、理事に就任し、平成17年に理事長に就任いたしました。

貴病院は、「理念」、「基本方針」、「患者様の権利」、「臨床倫理方針」等を明確に定められ、公表されておられますが、そうした考え方の基本となる考え方をお教えてください。

先代理事長の「医は仁術なり」という教えが基本となっております。患者様への思いやりの心を大切にすること、さらには、一歩踏み込んで心から家族のような対応をすることが大事と思っております。



小山理事長

善仁会グループの社是は、「仁」ですが、「仁」とは、他人に対する親愛の情、優しさです。当グループは、「仁」の精神を大切に、行動指針として、次の5つの「徳」を実践します。1つ目は「恭」で、うやうやしく身を慎めば、人から侮られることはない。2つ目は「寛」で、心を広く持てば、多くの人が集まってくる。3つ目は「信」で、信用を重んずれば、仕事は任せてもらえる。4つ目は「敏」で、ぐずぐずしないでテキパキと片付ければ、仕事ははかどる。5つ目は「恵」で、人に恩恵を与える人ならば、黙っていても人が協力し動いてくれる。そして、当グループの理念は、「伝統と誇り 幸せを創造し 未来へ」です。

少子高齢化時代を迎え、地域医療に求められるものは極めて重大になってきております。貴グループは、特に、産婦人科の充実や様々な形態の老人介護施設の拡充など、時代を先取りしてこられました。地域社会とのかかわりの中で、どのような使命感の下に、どのような事業展開をはかってこられたのでしょうか。

鹿行地域は、鹿嶋市、神栖市、潮来市、銚田市、行方市で約28万人の人口がありますが、人口10万人当りの医師数は、全国平均238人に対して89人で、全国ワースト2位の茨城県の中のワースト1位という状況です。こうした「医療過疎地域」の中で、病気の治療を地域内で完結することが一番のテーマです。救急医療等、地域で治してゆくことを大事にし、そのために多くの診療科をつくり、勤務医を抱えてきました。急性期医療が過ぎると、老人介護、在宅医療となりますが、先代理事長が、患者様を中心に据えて、地域内で完結するように施設の整備をしてきました。昨年4月に開設した健康管理センターも、地域内で予防医学の充実を図る為に計画を策定したものです。他の地域に行かなくても、地域内で完結できる医療体制に重きをおいています。

また、ご指摘のあった産婦人科については、私の専門が産婦人科であることもあって、「女性が

安心して子供を産める環境をつくること」に注力してきました。

貴病院の当地区あるいは茨城県内における位置づけ、特色のようなものがございましたらお教えください。

当病院は、鹿嶋市唯一の二次救急指定病院になっております。特に、脳神経外科や循環器内科ではホットライン（電話）を携帯し、救急隊や地域医療機関と迅速に連携できる体制をとっています。CTや血管造影室なども拡充し、救急スタッフも増員し、月200台以上の救急車を受入れてまいりました。さらに、昨年12月には、県内でも数台しかない脳動脈瘤の血管内治療が出来る血管撮影機器導入、本年4月には患者様の負担を減らすための化学療法室増設など最新鋭の機材の導入にも努めています。筑波大学の山海先生が開発されたサイバーダイナ社のロボットスーツ「HAL」も導入しております。

こうしたことをご評価いただき、お蔭さまで、当院は週刊ダイヤモンド社の2013年10月26日特大号「頼れる病院ランキング」で、茨城県内第3位となりました。



インタビュー風景

昨年、「健康管理センター」を開設されました。センター内をご案内いただきましたが、同施設は美しく、機能的にできており、まるでホテルのような雰囲気、リラックスして健康診断を受診できる感じがいたしました。また、受付の方やスタッフの皆さんの笑顔と親切な対応も印象的でした。



「健康管理センター」内部

昨年4月に、「健康管理センター」と「内視鏡センター」をオープンさせました。予防医学の充実を図ることが第1の目的ですが、豊富なメニューと快適サービス、充実したワンランク上の健診を最新設備で提供することを目指しております。また、「内視鏡センター」は、胃潰瘍や早期胃癌の内視鏡治療もできるようになっております。現在、地域の個人の利用と法人の利用が半々になっておりますが、皆様には是非ご利用していただきたいと思っております。

健康管理センターに並列して、「さくらテラス」というレストランがございましたが、眼下に鹿嶋の街や北浦が見下ろせる素晴らしい眺めに加えて、今日はちょうど河津桜が満開で「さくらテラス」の名にふさわしい光景でした。人間ドックを終えた方やご入院患者の方とご家族等のご利用はもとより、一般市民の方も利用されていると伺いました。また、理事長のご嗜好もあってか、片隅には大きなワインセラーがあり、ワインもたくさんならんでおりました。健診を受け、健康を維持して美味しいワインをいただきたいものですね。

ところで、理事長の事業経営面で腐心されておられること、特に、お医者さんの採用や医療関係スタッフの採用・教育、患者様へのサービス対応などについて工夫されておられること等をお教えてください。

医師の確保は、茨城県内をはじめ様々な大学などとの連携が出来ており、また、常勤医師に加えて約100名の非常勤医師を擁しております。医師が過重労働にならないように、負担を軽減しながら患者様と触れあえる時間を少しでも多く確保できるように努めています。その対策の一つとして、医師事務作業補助室を設け、16名の医師事務作業補助者が医師の指示のもとで診断書等の文書作成や外来診察室での伝票作成等を代行しております。また、長期的な観点から医療人材を確保するために、医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、理学療法士等の育成のために毎年業務収入の1%程度を「奨学金」として投じております。

スタッフの教育にも毎年同程度の教育費を投じております。その中には専門企業による接遇研修なども含まれています。現在では、マニュアル化して自前で社内研修が出来るようになりました。「ワークライフバランス」にも配慮し、家庭と仕事が両立できること、残業を減らすこと、休暇を



レストラン「さくらテラス」

しっかりとれるようにすること、仕事へのやりがいを持てるようにすること等に努めております。リフレッシュ休暇の創設、託児所の充実などにも配慮しております。

患者様へのサービス対応につきましては、予約診療比率を8割に引き上げ待ち時間を減らしたり、医療コンシェルジュを配置したり工夫改善策を実施しています。また、ホスピタリティ向上委員会を設置して、日ごろの患者様や職員同士との対応の中からお互いに良いところを褒めあうためのカードを作ったり、ミーティングで感動のエピソードを紹介したりしております。

今後の事業戦略の方向や夢をお教えてください。

これから10年先、30年先にもこの地域内で選ばれる病院になること、職場になることを目指していきたいです。そして、この地域のために「地域完結型医療」を徹底することを大事にしていきたいです。

筑波銀行さんとは、トップから担当までの顔が見える関係にあって、感謝しておりますが、この病院の発展に係わっていただいた方が沢山いることはありがたいことです。

ありがとうございます。関係会社としての筑波総研もシステム面や事務面等でのお手伝いをさせていただきたく提案をさせていただいております。最後に、理事長のご趣味、座右の銘、尊敬する人物等をお教えてください。

趣味は、ゴルフと旅行です。好きな言葉は、「一期一会」です。尊敬する人物は、父です。45年前に、一人でこの病院を開設しましたが、寝ずに働き、個人病院をここまで成長させたそのバイタリティを敬服しております。

本日はお忙しい中長時間にわたりお話をお聞かせいただきましてありがとうございます。



小山理事長(写真左)と聞き手・小倉利男(写真右)